



ささえ愛おおたわら助け合い事業 (大田原市生活支援体制整備事業) 第1層の進捗状況



第1層協議体の活動について

第1回会議（R5.6.30）

- ◆ 令和5年度事業計画
- ◆ 講話「みんなで何とかする社会を目指して」
講師：一般社団法人えんがお 代表理事 濱野 将行 氏
- ◆ アンケート「2040問題を見据えた大田原市域の課題について」

日光市視察（R5.8.28）

参加委員9名 事務局3名

- ◆ 目的
日光市の地域の居場所を見学するとともに、日光市作成の「地域の居場所ガイドブック」に関する視察研修をし、第1層協議体で検討している「居場所」に関する課題解決に資する。

第2回会議（R5.9.15）

- ◆ アンケート「2040問題を見据えた大田原市域の課題について」結果
- ◆ 通いの場ガイドブック作成について
- ◆ イベント実施について

第1層協議体の活動について

第3回会議（R5.10.27）

- ◆ 通いの場ガイドブック作成に係るアンケート結果
- ◆ 通いの場ガイドブックについて
- ◆ イベント「地域の居場所づくりセミナー」について

地域の居場所づくりセミナー ～フレイル予防は仲間作りから～開催(R5.11.10)

- ◆ 会 場 那須与一伝承館
- ◆ 入場者数 105名
- ◆ 目 的

「世代を超えて地域住民がともに支え合う地域」「あらゆる住民が役割を持ち、自分らしく活躍できるコミュニティ」の実現を目指し、地域の高齢者等が気軽に集える「通いの場」づくりを推進する。

第4回会議（R6.2.2）

- ◆ イベント「地域の居場所づくりセミナー」でのアンケート結果について
- ◆ 通いの場ガイドブックについて
- ◆ 公共交通について

第1層協議体の活動について

日光市視察（R5.8.28）

参加委員9名 事務局3名

▶ 目的

日光市の地域の居場所を見学するとともに、日光市作成の「地域の居場所ガイドブック」に関する視察研修をし、第1層協議体で検討している「居場所」に関する課題解決に資する。



日光ちょきんアップ体操の様子



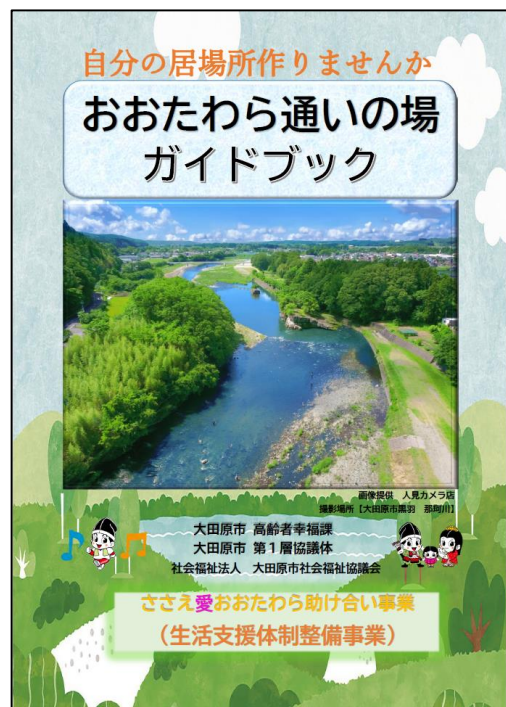
生活支援体制整備事業の状況
について日光市から説明

第1層協議体の活動について

通いの場ガイドブックの作成



与一いきいき体操
大田原公式youtube



通いの場では、ラジオ体操・与一いきいき体操や会食など、さまざまな活動を取り入れているところが多くあります。
主な活動例は以下のとおりです。

▼通いの場の活動例
運動・体操、会食、茶話会、認知症予防、趣味活動（運動系・文化系活動等）、農作業、生涯学習、ボランティア活動、就労活動、多世代交流など

7 通いの場立ち上げのポイント
地域の通いの場を立ち上げるポイントは、「まずはやる気スイッチ」を入れることです。地域の通いの場は、様々な成り立ちや運営方法があり、決まった形があるわけではありません。

◆通いの場フローチャート◆

```

    graph TD
      A[①通いの場をつくりたい] --> B[②どうやって通いの場を作るの?]
      B --> C[③まずは相談に行く]
      C --> D[④どこに相談に行くの?]
      D --> E[⑤相談先 高齢者幸福課 社会福祉協議会]
      E --> F[⑥仲間を集めよう]
      F --> G[⑦通いの場で何をするか話しましょう]
      G --> H[⑧どこで活動するか決めよう]
      H --> I[⑨負担がないよう集まりやすい日を決めよう]
      I --> J[⑩自由に気軽に参加できるように運営費を決めよう]
      J --> K[⑪参加する仲間と一緒に楽しい計画を立てよう]
      K --> L[⑫通いの場で自主財源をつくろう]
  
```

※①から⑫の手順で通いの場の活動を始めてみよう
①通いの場をつくりたい
②どうやって通いの場を作るの?
③まずは相談に行く

介護予防の取組「与一いきいき体操」

準備運動
基本姿勢：胸を張って足を肩幅程度に開いて座る

1 体幹（おなかと背中）の運動
①伸ばしたり縮めたり このとき息を止めない ②横に倒す

③ぐるぐる回す
時計周り 反時計周り

結果

- ▶ 日光市視察を踏まえ、通いの場の意義や立ち上げ方とともに、介護予防の取り組みである「与一いきいき体操」の活用も併せて促す冊子を作製。
- ▶ 今後はこの冊子を活用し居場所の増加や活動内容の充実につなげていく予定。

第1層協議体の活動について

地域の居場所づくりセミナー(R5.11.10)

【会場：那須与一伝承館 入場者数：105名】

第1部 講演会

1. 演題「フレイル予防『運動』 生き活き、住み慣れた地域で」
2. 演題「野菜を知って上手にとろう！」
3. 実演「通いの場で楽しめる簡単にできる料理レシピ」



第1層協議体の活動について

地域の居場所づくりセミナー(R5.11.10)

【会場：那須与一伝承館 入場者数：105名】

第2部 地域の通いの場事例発表会

1. 団体名 滝岡ふれあいサロン（親園地区）
2. 団体名 上薄葉カラオケ会（野崎地区）
3. 団体名 築地カフェ（川西地区）



結果

- ▶ 地域の居場所やその活動内容について、理解促進が図られた。
- ▶ 居場所活動に有益な情報を提供することにより、活動の活性化につながった。
- ▶ 居場所活動の主体が主役となる発表の場があることで今後の活動への活力につながった。

第1層生活支援コーディネーター(S C)の活動

生活支援コーディネーターの役割

資源開発

- ・地域に不足するサービスの創出
- ・サービスの担い手の養成
- ・高齢者などが担い手として活動する場の確保 など

ネットワーク構築

- ・関係者間の情報共有
- ・サービス提供主体間の連携の体制づくり など

ニーズと取組のマッチング

- ・地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング など

令和5年度の活動内容

- ◆ 各地区第2層協議体への参加による情報収集
- ◆ コラム「見つけましたささえ愛」の取材・掲載
- ◆ インフォーマル冊子の内容充実
- ◆ 移動販売（販売場所の展開・事業者の掘り起こし）
- ◆ 地域と介護事業所との顔つなぎ
- ◆ シニアカーが乗り入れ可能なスーパー等の情報集約と発信
- ◆ 居場所立ち上げに関するコーディネートとマッチング